

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		老人福祉総務事業				
	担当課・係名		保健福祉課 福祉係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	01 健やかに生きるチカラ	
		款	03 民生費		中分類	04 長寿社会の確立	
項		01 社会福祉費	小分類		01 高齢者福祉の充実（重）		
	目	02 老人福祉費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		15,134	15,071	15,339	15,326	14,031
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	15,134	15,071	15,339	15,326	14,031
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
<p>援護を必要とする高齢者。</p>							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
<p>高齢者福祉に関する事業を円滑に行うための公用車の管理並びに高齢者を取り巻く環境の整備を図る。</p>							
⑤	事業概要						
<p>高齢者福祉に関する事業を円滑に行うための公用車の管理及びシルバー人材センター運営等に関する補助を行う。需用費、役務費、負担金補助及び交付金、公課費を計上</p>							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
<p>高齢者の増加及び生産年齢人口の減少に伴い、高齢者の年金受給の引き上げなどが考えられる。そこで、社会参加や労働意欲を保ち、健康で安定した生活を送ることができるようにシルバー人材センターの役割は大きい。</p>							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
<p></p>							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	登録者数	単位：人	実績値	0	46	74	
			目標値	0	0	0	
定義 シルバー人材センター3月末の登録者数							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	シルバー人材センターを運営するには町の支援が必要である。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	シルバー人材センターは、シルバー世代が社会参加と生きがいを求める組織として必要である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	職員3名分の人件費、運営費を適切におさえている。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	平成29年10月から一般社団法人としてスタートし、会員登録数も平成30年度末で74名、国庫補助の対象となる100名以上を目標とし、推進する。

⑪	課長総括評価 高年齢者の健康づくりと活力ある地域社会を目指す組織であり、住民の福祉向上に寄与している事業。
合計点 50	
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		ミニデイサービス事業				
	担当課・係名		保健福祉課 福祉係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	01 健やかに生きるチカラ	
		款	03 民生費		中分類	04 長寿社会の確立	
項		01 社会福祉費	小分類		01 高齢者福祉の充実（重）		
	目	02 老人福祉費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		304	272	304	272	304
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
一般財源		304	272	304	272	304	
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
在宅の高齢者							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
住み慣れた地域で、生きがいを持って健康で暮らせるよう地域全体で支え合う。地区の要請により健康チェック、食事、生活相談、運動等のサービスを提供する。そのことにより、心身機能の維持向上及び社会的孤立の解消を図る。							
⑤	事業概要						
行政区単位で集会所等を活用し実施。地区の要請により保健師、栄養士等の派遣を行い、寝たきりや認知症の予防及び自己管理が継続できるように支援する。事業を行った行政区に対し、8,000円/回の助成を行う。							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
高齢化が進行する現状では、本事業は地域で支え合うことを目的とする有効な事業である。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
町単独による事業							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	開催回数	単位：回	実績値	34	34	34	
			目標値	0	0	0	
定義 各行政区1～2回開催							
B	保健師・栄養士 派遣人数	単位：人	実績値	68	62	54	
			目標値	0	0	0	
定義 ・保健師の実施内容（血圧測定・健康講話等） ・栄養士の実施内容（調理指導・健康講話・みそ汁塩分測定等）							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	参加者数	単位：人	実績値	937	905	757	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 現在、地区が主体となって計画している。町は保健師、栄養士等が地区からの要請に応じて職員を派遣している。地域との連携にとっても、有効である。	
点数 15	
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 今後高齢化が益々進むので高齢者が健康で暮らすためには、地域で支え合っていくことが大切であり、そのためにも有効な事業である。	
点数 15	
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 地区のお茶飲み会とミニディサービスの区別がつきにくくなってきている。	
点数 13	
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 開催回数はほとんどの地区が1～2回位開催しており、地区で定着した事業である。	
点数 5	

⑪	課長総括評価 高齢化が進行する現状では、本事業は地域で支え合うことを目的とする有効な事業である。様々な活動を行っている地区の状況や課題を把握し、支援していきたい。
合計点 48	
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		寝具洗濯乾燥消毒サービス事業				
	担当課・係名		保健福祉課 福祉係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	01 健やかに生きるチカラ	
		款	03 民生費		中分類	04 長寿社会の確立	
項		01 社会福祉費	小分類		01 高齢者福祉の充実（重）		
	目	02 老人福祉費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		39	39	65	33	66
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	3	4	3	3	6
		一般財源	36	35	62	30	60
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか） おおむね65歳以上の一人暮らし、並びに老衰、心身の障害又は傷病等の理由により臥床している老人及び身体障害者。						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか） 寝具を洗濯、乾燥及び消毒することにより清潔感を保持し快適な生活ができるよう支援し、利用者及び介護者の負担を軽減する。						
⑤	事業概要 年1回寝具（3点）を洗濯、乾燥及び消毒する。						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について 高齢化が進む現状なので、高齢者の快適な生活を維持する上で有効である。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等） 色麻町寝具洗濯乾燥消毒サービス事業実施要綱						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	利用者数 単位：人	実績値	6	6	5	
			目標値	0	0	0	
	定義						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	利用者数 単位：人	実績値	6	6	5	
			目標値	0	0	0	
	定義						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 12	一人暮らし等の高齢者で本事業の希望がある。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 12	一人暮らし又は二人暮らしの高齢者にとっては快適な生活ができる。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 13	利用者は事業費の1割を負担しているが、他に類似した事業はない。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	3
評価の説明 点数 3	民生委員に通知して希望申し込みをとっているが、利用者は固定している。

⑪	課長総括評価 寝具の衛生管理が困難な高齢者にとっては清潔感を保持し、快適な生活ができる事業である。実施時期を冬から秋に変更し、利用しやすい環境づくりに努めている。
合計点 40	
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		ねたきり者等紙おむつ補助事業				
	担当課・係名		保健福祉課 福祉係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	01 健やかに生きるチカラ	
		款	03 民生費		中分類	04 長寿社会の確立	
項		01 社会福祉費	小分類		01 高齢者福祉の充実（重）		
	目	02 老人福祉費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		238	220	250	220	600
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	238	220	250	220	600
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
40歳以上のねたきり者等で常時失禁状態が6ヶ月以上継続している方。前年度非課税世帯。							
④	目的・意図する成果(どのような成果をもたらしたいのか)						
紙おむつ代を補助することにより経済的負担の軽減を図る。							
⑤	事業概要						
紙おむつ代（月5,000円）を補助。							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
高齢化が進行する現状なので利用者が増加することが見込まれる。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
色麻町ねたきり者等紙おむつ補助事業実施要綱							
⑧	事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)						
指標名			H28	H29	H30		
A	対象者数	単位：人	実績値	8	5	4	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
指標名			H28	H29	H30		
A	利用者数	単位：人	実績値	8	5	4	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

<b>⑩ 目的妥当性の評価</b>	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 12	紙おむつ代を補助することにより経済的負担の軽減が図られる。
<b>有効性の評価</b>	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 12	紙おむつ代を補助することにより経済的負担の軽減並びに清潔が保持される。
<b>効率性の評価</b>	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 12	他に類似する事業はない。
<b>達成度の評価</b>	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	経済的負担の軽減が図られる。

<b>⑪</b>	課長総括評価 合計点 40 今後の方向性	高齢化に伴い、一人暮らし老人等の対象者にとっては経済的負担の軽減が図られ有効な事業である。 <b>現状のまま継続</b>
----------	----------------------------	---

<b>⑫</b>	二次評価 今後の方向性	
----------	----------------	--



令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		老人福祉施設入所措置事業				
	担当課・係名		保健福祉課 福祉係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	01 健やかに生きるチカラ	
		款	03 民生費		中分類	04 長寿社会の確立	
項		01 社会福祉費	小分類		01 高齢者福祉の充実（重）		
	目	02 老人福祉費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		8,317	8,298	9,303	9,142	9,375
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	1,383	1,400	1,404	1,404	1,404
		一般財源	6,934	6,898	7,899	7,738	7,971
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
身体上もしくは精神上又は経済的理由により居宅の生活が困難な概ね65歳以上の高齢者。							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
養護老人ホームに入所措置し、心身の負担を軽減する。							
⑤	事業概要						
平成30年度 養護老人ホームひばり園 1名 長期入所 養護老人ホーム偕楽園 3名 長期入所							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
高齢社会により、施設入所者の増加が見込まれる。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
老人福祉法第11条・町生活管理指導短期宿泊事業							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A	入所者数	単位：人	実績値	3	4	4	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A	入所者数	単位：人	実績値	3	4	4	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

<b>⑩ 目的妥当性の評価</b>	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	高齢者に対し、心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な措置を講じ、高齢者福祉の増進を図る。
<b>有効性の評価</b>	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	高齢化が益々進む中で、高齢者が心身共に健康で安心して暮らすためには有効な事業である。
<b>効率性の評価</b>	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	他に類似した事業がなく、ひとり暮らし高齢者には必要な事業である。
<b>達成度の評価</b>	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	高齢者に対し、心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な措置を講じ、高齢者福祉の増進が図られている。

<b>⑪</b>	課長総括評価 高齡者の日常生活、健康管理に寄与している事業である。 合計点 50
今後の方向性	現状のまま継続

<b>⑫</b>	二次評価 今後の方向性
----------	----------------

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		高齢者等緊急通報システム事業					
	担当課・係名		保健福祉課 福祉係					
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	01 健やかに生きるチカラ		
		款	03 民生費		中分類	04 長寿社会の確立		
		項	01 社会福祉費		小分類	01 高齢者福祉の充実（重）		
目		06 高齢者等緊急通報システム対策費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>					
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算	
	総事業費（千円）		696	696	730	704	872	
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0	
		その他特定財源	0	0	0	0	0	
		一般財源	696	696	730	704	872	
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。								
③	対象（誰、何を対象にするのか）							
	在宅等のおおむね65歳以上のひとりぐらし高齢者等。							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）							
	家庭用緊急通報器を貸与し、緊急事態に迅速に対応できる体制を整備し、高齢者等の日常生活上の安全確保と精神的な不安を解消し、高齢者福祉の増進を図る。							
⑤	事業概要							
	緊急通報器を設置することにより、急病、事故などの突発的な事態が発生した時に委託業者に通報が入り、委託業者の警備員が利用者宅に急行して対応する。							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について							
	高齢社会により、ひとりぐらし高齢者の利用者が増加することが見込まれる。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）							
	色麻町ひとりぐらし高齢者等緊急通報システム事業実施要綱							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）							
	指標名			H28	H29	H30		
	A	設置台数	単位：台	実績値	30	29	28	
				目標値	0	0	0	
	定義	年度末設置台数						
	B		単位：	実績値	0	0	0	
				目標値	0	0	0	
	定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）							
	指標名			H28	H29	H30		
	A	設置台数	単位：台	実績値	30	29	28	
				目標値	0	0	0	
	定義	年度末設置台数						
	B	新規設置台数	単位：	実績値	4	7	5	
				目標値	0	0	0	
	定義							

<b>⑩ 目的妥当性の評価</b>	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	在宅での生活において、病気や身体に関する不安を解消している。
<b>有効性の評価</b>	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	高齢社会により、ひとりぐらし高齢者の利用者が増加することが見込まれる事業である。
<b>効率性の評価</b>	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	緊急事態発生時の対応は適切に行われている。経費は月額1,944円（税込）であり、設置及び撤去時には経費も発生しないことから妥当と判断する。
<b>達成度の評価</b>	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	ひとり暮らし高齢者等の急病、事故などの突発的な事態が発生した時及び相談等に役立っている。

<b>⑪</b>	課長総括評価 緊急事態発生時の対応は適切に行われていて、ひとり暮らし高齢者等の不安解消に繋がっており有効な事業である。 合計点 50
今後の方向性	現状のまま継続

<b>⑫</b>	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		配食サービス事業				
	担当課・係名		保健福祉課 福祉係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	01 健やかに生きるチカラ	
		款	03 民生費		中分類	04 長寿社会の確立	
項		01 社会福祉費	小分類		01 高齢者福祉の充実（重）		
	目	02 老人福祉費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		23	0	101	0	101
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	78
		一般財源	23	0	101	0	23
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか） おおむね65歳以上のひとり暮らし、又は高齢者で老衰、心身の障害及び調理が困難な方。						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか） 調理が困難なひとり暮らし高齢者に対し、バランスのとれた食事を定期的に配食し、あわせて利用者の健康状態及び安否の確認ができる。						
⑤	事業概要 調理が困難なひとり暮らし高齢者に対し、バランスのとれた食事を定期的に配食する。						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について 高齢者の増加に伴い、ひとり暮らし高齢者等の利用増加が見込まれるが、弁当調理部門を町が加美商工会色麻支部に委託することになっているが、受託してくれる業者がない状況である。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等） 色麻町配食サービス事業実施要綱						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	利用者数	単位：人	実績値	0	0	0
				目標値	0	0	0
	定義						
	B		単位：	実績値	0	0	0
				目標値	0	0	0
	定義						
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	利用者数	単位：人	実績値	0	0	0
				目標値	0	0	0
	定義						
	B		単位：	実績値	0	0	0
				目標値	0	0	0
	定義						

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 12	65歳以上のひとり暮らし高齢者等で、老衰、心身の障害等により調理が困難な方に、食事を定期的に配食できる。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 12	高齢社会によるひとり暮らし高齢者等の増加が見込まれる状況において、有効な事業である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 12	町だけでなく町社会福祉協議会等との連携が必要である。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	3
評価の説明 点数 3	平成21年度から利用者なし。今後はニーズの把握を行い、1人でも必要な方がいれば、民間、介護保険も含めて、どのサービスがご本人にとって適切か、個別で検討し、実施していきたい。

⑪	課長総括評価 合計点 39 今後の方向性	65歳以上のひとり暮らし高齢者等で、老衰、心身の障害等により調理が困難な方にバランスのとれた食事を定期的に配食できる有効な事業であるが、バランスのとれた食事を定期的に配食できる事業所を含め別の方法を検討する必要がある。  改善の上継続
---	----------------------------	---

⑫	二次評価 今後の方向性	
---	----------------	--

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		高齢者無料入浴サービス事業				
	担当課・係名		保健福祉課 福祉係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	01 健やかに生きるチカラ	
		款	03 民生費		中分類	04 長寿社会の確立	
項		01 社会福祉費	小分類		01 高齢者福祉の充実（重）		
	目	02 老人福祉費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		45	43	47	47	45
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	45	43	47	47	45
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
	70歳以上の高齢者						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
	70歳以上の高齢者の方々がかっぱのゆへの入浴により心身の健康と生きがいの増進を目的とする。						
⑤	事業概要						
	70歳以上の高齢者の方々にかっぱのゆへの無料入浴券（一日利用券3枚）を交付する。						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A	対象者数	単位：人	実績値	1,560	1,575	1,589	
			目標値	0	0	0	
定義	基準日4月1日現在で70歳以上						
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A	延べ利用者数	単位：人	実績値	2,976	2,804	2,896	
			目標値	0	0	0	
定義	年度中3枚使用可能						
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価		
ア	町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ	最も適切な方法で行われている	4
ウ	町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明	入浴を通じて心身の健康維持と生きがいの増進を図れる。	
点数	12	
有効性の評価		
ア	長期的な効果が期待できる	5
イ	目的を達成するために有効な事業である	5
ウ	まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明	入浴を通じて心身の健康維持と生きがいの増進を図る有効な事業である。	
点数	15	
効率性の評価		
ア	経費は適切かつ最低限である	5
イ	他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ	受益者負担は適正である	5
評価の説明	入浴券印刷の低コストに努めている。	
点数	14	
達成度の評価		
ア	事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明	利用者は6割を超えているが、一方、要介護者が利用できないという声も聞かれる。	
点数	4	

⑪	課長総括評価	高齢化が進行する現状では、本事業は地域で支え合うことを目的とする有効な事業である。
合計点	45	
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性		



令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		介護保険に要する経費				
	担当課・係名		保健福祉課 介護保険係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	01 健やかに生きるチカラ	
		款	03 民生費		中分類	04 長寿社会の確立	
項		01 社会福祉費	小分類		01 高齢者福祉の充実（重）		
	目	02 老人福祉費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		117,680	117,680	110,154	110,154	127,856
	財源 内訳	国県支出金	547	549	542	593	579
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	117,133	117,131	109,612	109,561	127,277
※H29・H30は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
介護予防及び介護サービス等を利用する高齢者等							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
介護保険特別会計繰出金（特別会計の健全な運営） ・身近な地域で気軽に参加できる介護予防の受け皿があり、適切な介護予防サービス等が実施される。 ・高齢者等が必要時に適切なサービスが利用でき、安心して笑顔で暮らせるようにしたい。結果的にみんなで支える制度の継続につながる。 ・自助努力、地域力、健全なコミュニティの育成							
⑤	事業概要						
・介護保険特別会計への繰出金 ・介護給付費などの町負担分内訳 ①介護給付費分 ②地域支援事業（包括的支援事業・任意事業分） ③低所得者の介護保険料軽減分 ・事務費・人件費繰出金 <b>【主な事業】</b> ・介護（予防）サービス給付事業 ・地域支援事業（地域包括支援センターによる介護予防事業、及び事業費等） ・介護保険料の賦課徴収 ・介護認定に伴う業務 ・第8期介護保険事業計画に関すること							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
・団塊の世代が75歳以上の後期高齢となる2025年には、高齢者人口や要介護及び要支援者数、サービスの利用状況（種類や量）の変化により介護サービス給付費及び地域支援事業費等の増加が予測される。 介護保険制度も介護給付費の増大とならないよう所得に応じた費用負担を段階的に導入している状況である。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
介護保険法・色麻町介護保険条例・地域密着型サービス等の条例							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A	開催地区数	単位：	実績値	24	24	24	
			目標値	25	25	25	
定義	介護予防事業開催地区数 参考：開催回数 H28/187回、H29/167回、H30/135回・認知症カフェ H29/45回/21地区、H30/61回/23地区						
B	受給者数	単位：人	実績値	374	353	334	
			目標値	0	0	0	
定義	居宅介護サービス受給者数（介護保険事業状況報告9月分）						
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 12	身近な集会所等で地域住民が自ら介護予防事業等に参加し、生きがいや健康づくりに生かしていくことは、健康寿命の延伸につながるものである。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 14	町の将来像実現には、住民が心身ともに元気であること、笑顔で暮らせることが大切である。住民ニーズ及びニーズの変化、地域の課題や特性を捉え介護予防と社会参加の促進を図っていく必要がある。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 13	・市町村の財政負担が定められている。 ・各課との連携・調整が必要（高齢者住宅、健康増進介護予防事業等） ・低所得者層は、世帯でみるため、世帯からの支援が必要である。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	地域包括支援センター等の活動により、地域でのコミュニティ活動が活発となっている。今後も地区の主体性を尊重し、介護予防と健康づくりを展開し、維持拡大できるように町としてのPDCAサイクルを実施し、支援していく。

⑪	課長総括評価 合計点 43 今後の方向性	国等の制度改正を踏まえながら、介護保険特別会計の健全な運営を図る。 <b>現状のまま継続</b>
---	----------------------------	---

⑫	二次評価 今後の方向性	
---	----------------	--

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		介護サービス事業に要する経費				
	担当課・係名		保健福祉課 介護保険係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	01 健やかに生きるチカラ	
		款	03 民生費		中分類	04 長寿社会の確立	
項		01 社会福祉費	小分類		01 高齢者福祉の充実（重）		
	目	02 老人福祉費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		5,732	5,732	6,370	6,370	6,918
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	5,732	5,732	6,370	6,370	6,918
※H29・H30は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
介護予防及び介護サービス等を利用する高齢者（介護予防・生活支援サービス事業対象者、要介護状態区分が要支援1、2及び要介護の一部）及びその家族							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
1 介護予防・生活支援サービス、介護予防サービスおよび介護サービスを利用する高齢者及びその家族等が健康を保ち、住み慣れた地域で安心して在宅生活を送ることができる。							
2 介護予防サービスおよび介護サービスを利用する高齢者の心身の機能維持、改善							
⑤	事業概要						
特別会計の拠出金（介護サービス特別会計） 高齢者支援に係る活動費と人件費							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
介護予防ケアマネジメント、介護予防サービス計画については、市町村が実施主体であることから、直営実施している。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
色麻町地域包括支援センターの設置及び管理に関する条例（平成18年3月30日条例第19号）第3条（7） 介護保険法居宅介護支援事業の運営基準（平成11年3月31日厚生省令第三十七号他）							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A	予防計画（ケアマネジメント・支援）	単位：件	実績値	297	263	248	
			目標値	0	0	0	
定義 介護予防・生活支援サービス事業対象者、要支援1,2の認定者のサービス利用にともない、訪問、アセスメント、ケアプランの作成、給付管理をするもの。定期的な訪問（3ヶ月に1回）を継続する。							
B	居宅介護支援計画	単位：件	実績値	43	17	1	
			目標値	0	0	0	
定義 要介護1～5の認定者のサービス利用にともない、訪問、アセスメント、ケアプラン作成、モニタリング、給付管理をするもの。基本的に毎月訪問する。							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A		単位：—	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：—	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	介護予防・生活支援サービスおよび介護予防給付のための介護予防ケアプラン作成の実施主体は町である。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	適切な介護予防ケアマネジメントと介護予防ケアプラン作成のもとでのサービス利用により、要支援者の自立支援と要介護者状態への移行を防ぐ事ができる。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	直営によりケアプラン作成、サービス提供がスピーディに行われ関連機関との連絡調整もスムーズにできる。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	サービス利用者のうち、半数以上が要介護状態になることなく機能を維持している。そのうち2名はサービスを利用しないで自立した生活に改善している。実績は上がっているといえる。

⑪	課長総括評価 介護サービス特別会計の健全な運営を図るため必要である。
合計点 50	
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	